

妹尾 香織 准教授

研 究 業 績

2016年5月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著 書（共）	「地域社会における高齢者の日常的な助け合い行動の実態解明とその心理・社会的効果の救命」『関西大学経済・政治研究所研究双書』123冊（高木修）、125～172頁	2003. 3
著 書（単）	『心理測定尺度集Ⅴ 個人から社会へ〈自己・対人関係・価値観〉』堀洋道監修/吉田富二雄・宮本聡介編、サイエンス社、223～231頁	2011. 3
著 書 （分担執筆）	「家族を心理学する」『臨床心理学ことはじめ』花園大学社会福祉学部臨床心理学科編、ナカニシヤ出版、45～57頁	2012. 3
論 文（単）	「援助行動における援助者の心理的効果－研究の社会的背景と理論的枠組み－」『関西大学大学院人間科学』55巻、181～194頁	2001. 9
論 文（共）	「現実場面における援助効果、援助成果の検証－パソコン教室を事例としたフィールドワーク－」『関西大学社会学部紀要』33巻1号、（高木修）、59～86頁	2001. 10
論 文（単）	「援助成果の生起メカニズムに関する－考察－パソコン教室ボランティアの事例的分析から－」『関西大学大学院人間科学』56巻、123～137頁	2002. 3
論 文（単）	「ボランティア活動経験で得られる心理的効果－ボランティアの基本属性およびボランティアの活動要因による差異－」『関西大学大学院人間科学』57巻、75～86頁	2002. 9
論 文（共）	「高齢者による援助行動の実態とその効果に関する研究（1）－近隣社会における援助授受の実態と性別、年齢、ボランティア活動経験による差異－」『関西大学社会学部紀要』34巻1号、（高木修）、143～183頁	2002. 12
論 文（共）	「援助行動経験が援助者自身に与える効果－地域で活動するボランティアに見られる援助効果－」『社会心理学研究』18巻2号、（高木修）、106～118頁	2003. 1
論 文（単）	「助け合いはどのように捉えられているか（1）－質問紙調査に寄せられた自由記述の分析－」『関西大学大学院人間科学』58巻、87～103頁	2003. 3

論文(単)	「援助成果経験状況の予備的検討ー若者の援助成果経験の事例ー」『関西大学大学院人間科学』59巻、201~221頁	2003. 9
論文(単)	「ボランティア活動経験が高齢者の主観的幸福に及ぼす影響」『関西大学大学院人間科学』60巻、129~142頁	2004. 3
論文(共)	「高齢者の援助行動経験と心理・社会的幸福・安寧感との関連」『心理学研究』75巻5号、(高木修)、428~434頁	2004. 12
論文(単)	「父親の家庭関与と中学生の学校適応感との関連(1)ー父親の在宅時間による検討ー」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第14号、73~80頁	2006. 3
論文(共)	「援助授与行動と援助要請・受容行動の間の関連性ー行動経験が援助者および被援助者に及ぼす内的・心理的影響の研究ー」『関西大学社会学部紀要』第38巻、(高木修)、25~38頁	2006. 10
論文(単)	「援助成果が援助要請行動の動機づけに及ぼす影響」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第15号、103~107頁	2007. 3
論文(単)	「若者におけるボランティア活動とその経験効果」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第16号、35~42頁	2008. 3
論文(単)	「介護と家族ーグループホームにおける認知症高齢者の生活」『調査と資料』105号、73~85頁	2008
論文(共)	「援助・被援助の好循環を規定する要因ー援助成果志向性が果たす機能の検討ー」『関西大学社会学部紀要』42巻、117~130頁	2011. 2
学会発表(共)	「シニア層のボランティア意識と実態」、日本社会心理学会第41回大会、(高木修、箱井英寿)	2000. 11
学会発表(共)	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果(1)ー援助成果の構造および援助成果を規定する要因の解明ー」、日本社会心理学会第42回大会、(高木修)	2001. 10
学会発表(単)	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果(2)ー援助成果がボランティア活動継続の動機づけに及ぼす影響ー」、国際ボランティア学会第3回大会	2001. 10
学会発表(単)	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果(3)ー援助成果と援助経験および援助に対する態度の関連ー」、関西心理学会第113回大会	2001. 10
学会発表(共)	「援助行動の構造とそれらが及ぼす心理的效果ー高齢者の助け合いに関する調査から(1)ー」、日本心理学会第66回大会、(高木修)	2002. 9
学会発表(単)	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果(5)ーボランティア活動経験が日常生活における援助行動に及ぼす影響ー」、国際ボランティア学会第4回大会	2002. 10

学会発表（共）	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果（4）－援助者、被援助者からのアプローチによる高木（1997）モデルの検証－」、日本社会心理学会第43回大会、（高木修）	2002. 11
学会発表（共）	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果（6）－援助授与経験と高齢者の心理・社会的幸福・安寧感との関連性－」、日本心理学会第67回大会、（高木修）	2003. 9
学会発表（共）	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果（7）－援助、被援助行動の好循環を規定する個人差要因（援助成果志向性）の予備的検討－」、日本社会心理学会第44回大会、（高木修）	2003. 9
学会発表（単）	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果（8）－援助成果志向性の妥当性検討－」、関西心理学会第115回大会	2003. 10
学会発表（共）	「The effect of helping behaviors on helper : A case study of young volunteer」、28th International Congress of Psychology (ICP2004)、（Osamu Takagi）	2004. 8
学会発表（共）	「援助者に及ぼす援助行動経験の効果（9）－若者の援助成果経験事例－」、日本心理学会第68回大会、（高木修）	2004. 9
学会発表（単）	「父親の家庭関与に関する研究Ⅰ－父親の家庭関与と中学生が捉える両親の夫婦関係、両親との親和性、学校適応感との関連－」、日本心理学会第69回大会	2005. 9
学会発表（単）	「援助成果に及ぼす援助コスト、援助成果、および援助成果志向性の効果」、日本社会心理学会第46回大会	2005. 9
学会発表（共）	「援助要請行動に及ぼす援助成果の効果」、日本社会心理学会第47回大会、（高木修）	2006. 9
学会発表（単）	「身近な人間関係での相談における援助の失敗」、日本心理学会第70回大会	2006. 11
学会発表（単）	「身近な人間関係での相談の失敗－中学生を対象として」、日本心理学会第71回大会	2007. 9
学会発表（単）	「身近な人間関係における相談－相談の成功あるいは失敗経験の検討－」、日本心理学会第72回大会、北海道大学	2008. 9
学会発表（単）	「身近な人間関係における相談の失敗－相談役の後悔感情に着目して－」日本心理学会第74回大会、大阪大学	2010. 9
学会発表（単）	「援助・援助行動の好循環を規定する要因－援助成果志向性が果たす機能の検討－」『関西大学社会学部紀要』42巻2号、117～130頁	2011. 2
学会発表（単）	「身近な人間関係における相談の失敗－被相談者におこる被相談後の後悔感情に着目して－」日本心理学会第75回大会、日本大学	2011. 9

学会発表（単）	“General attitudes of Japanese university students toward their families today” ,30 th International Congress of Psychology (ICP2012), Cape Town South Africa	2012. 7
学会発表（単）	“Effect of anger and forgiveness on general health among Japanese college students” European Congress of Psychology, Stockholm SWEDEN	2013. 7
学会発表（単）	「大学生における生殖補助医療の認知度が不妊治療や代理出産、養子縁組に対する態度に及ぼす影響」日本生殖医療心理学会 第12回大会	2015. 2
学会発表（単）	College students future life events motivation: Do they really want to work, marry and become a parent? The 14 th European Congress of Psychology, Milan ITALY	2015. 7
報告書（共）	「高齢者における援助行動経験の心理的効果に関する社会心理学的研究」『豊かな高齢社会の探究』Vol. 11、（高木修）、財団法人ユニベール財団	2003. 9
報告書（単）	「介護と家族—グループホームにおける認知症高齢者の生活—」『調査と資料』第105号、関西大学経済・政治研究所現代産業社会と人間関係研究班、73～85頁	2008. 3
